



団だより

この夏も本団のスカウトたちは、一年の活動の集大成として全部門合同キャンプである「夏の村」に臨みました。

その「夏の村」主力は、今やCS(カブ隊)とBVS(ビーバー隊)たち。スカウト運動の中核的部門とも云えるボーイスカウト(BS)隊は、極端にスカウト数の少ない状態にあったため、夏キャンプも部門本来の「あるべき姿」で実施することは些か難しい状況でした。この現象は、何も本団だけではなく、湘南地区の各友団でも一部の例外を除きほぼ共通した悩みであり、それは世界ジャンボリーの国内開催を明年に控えて浮き立つ我が国のスカウト組織が、その一方で直面している厳しい現況を表しています。

BS部門が「スカウト運動の中核」だ、と云うのは、107年前にB-P(ベーデン・パウエル)卿によってこの運動が創始された当初、その主な対象となったのは現在のBS年代の少年たちであり、「班制度」「進歩制度」「野外活動」と云ったスカウト運動の特色ある教育法は、みなこの年代の少年たちの発達段階とニーズに焦点を当てて取り入れられたものだからです。特に、小グループ活動を通じて、他者とのコミュニケーション能力を磨き、役割を分担する中で思いやりや協調性を養い、責任感とリーダーシップをしっかりと身に付ける場としての「班」は、云わば「人格養成学校」であり、教育としてのスカウティングの、まさに肝に当たる部分です。

スカウト数の減少は、班制度の展開に様々な困難をもたらします。昨今はその延長線上で、班対抗のよき競争関係が成り立たず、或いは先輩から後輩への技能の伝習が途絶える等により、ダイナミックな野外活動が十分に展開できなると云う事態も散見されるようになりました。これはスカウト運動の更に大きな危機と捉えられるべきでしょう。

しかし、幸いなことに本団ではスカウト数の減少にも拘わらず、BS部門は指導者・スカウトともに士気は旺盛で文字通りの「少数精鋭」。野外活動への意欲も衰



意志あるところに方法はある

団委員長 當麻洋一

えていません。そして、BS部門へとスカウトを送り出す、CS更にBVS部門は、充実した楽しい活動を通じてスカウト数を着実に回復させており、また、BS部門を終えた後に上進するVS部門では、毎年のバリエーション豊かな夏季遠征や、隼・富士への進級を目指す意欲的な取り組みなど活動は極めて活発であり、後輩たちにとって明確な憧れの対象、現実的な目標をしっかりと示してくれています。

スカウト運動は、「よりよき社会人」を育む「一貫教育」です。「継続することを得られる力」を確信し、「大家族」としてタテに繋がる各部門が連携・協働することで、必ずやスカウト運動の中核であるBS部門の態勢もしっかりと立て直されることでしょう。本年度のBS隊への上進者は6名。この「新しい青きスカウト」たちに大いに期待致します。

B-P卿は、「スカウティング・フォア・ボ

ーイズ」の中で、「不可能の“不”の文字をけとばせ！これが、人生で困難に対処する方法なのだ。仕事が難しくなるように思った時、困難が大きくて手にあまらと思った時、それを避けてはいけない。微笑して、それをうまく切り抜ける方法を考え出して、ぶつかってゆくのだ」と云っています。「意志あるところに方法あり」。今年も一年間、全団が一つになって弛みなく前進して行きましょう。



IMPOSSIBLE(不可能)という言葉からIM(不)の文字をけとばして、困難に対処していきましょう。

BVS

ビーバー隊

1年を振り返って



稲刈り

2013.10.06
広町

田んぼに入るのが初めてで、最初はたいへんでしたが鎌使いも、ナカナカなものになりました。

ミカン狩り

2013.10.27 大磯

採るのが楽しい!!
食べ放題も、うれしい!!
リュックが重くて大変だったけど、自分で採って持って帰ったミカンの味は、最高だったはず。



B-P祭

2014.03.16
西鎌倉幼稚園

カブ隊と一緒に。
ビーバースカウトが作った段ボールスペースで、カブスカウトが調理したスープをいただきました。



エノシマトレジャー

2014.02.23
江ノ島

藤沢市観光協会イベント「エノシマトレジャー」に参加しました。ヒントが難しすぎて、なかなかお宝が見つかりませんでした。



水鉄砲作り

2014.06.22
野村総研跡地

2種類の太さの竹をのこぎりでギョギョして水鉄砲を作りました。何度も工夫なおしたら、水が上手に飛ぶようになりました。

キャンプ

2014.08.24 三浦ふれあいの村

弓矢を作って遊んだことが楽しかった！
注意しなくちゃいけないことも、しっかり学びました。





キャンプの思い出

2014年
8月23日(日)～25日(月)
三浦ふれあいの村
神奈川県三浦市初声町和田

ぼくがいった三浦ふれあいの村のかんそうはまずしょ日の事です。しょ日は電車にのったときも楽しかったです。すず木ふく長と話したのが楽しかったです。次は夜ごはんを作るとき火おこしをしたときです。あまっていたチーズや肉があったので火のそばにおいて食べましたおいしかったです。さいごに夜ねる前にトランプをやりました。ぼくがもってきたやつでした。そのトランプでダウトをやりました。でもジョーカーの絵が面白すぎました。

次の日楽しかったのはキャンプファイヤーの出し物の練習です。ぼくの台詞が「ぼくはサルだ」という言葉でした。それをおもしろく言ってしまったのはほんのみんなが大笑いしました。

そしてさいごの日の朝早くおきてトランプしました。次はシーカヤックがぼくはうさぎだったのでさいごにのりしましたが、ライフジャケットではうさぎみませんでした。楽しかったです。

作山 耕平



ピザの生地作り。100回近くこねた。



火の当番。

シーカヤックをして、おもしろかったです。シーカヤックをしているとちゅうにピンクのたまごがういていたから、さいしょはピンクのガスがういているのかとおもいました。ぼくは、ポートからおりてうみへはいりました。そしてしたをみると、ふかかったです。したをみたときに小さなさかながいました。ぼくは、シーカヤックのこぎかたはぜんぶわかりました。こんどはみんなより早くこぎたいです。

大いそりょう

8月23日にJRと京急と京急バスによって何時間かかけて、三浦ふれあいの村に着きました。さい初はどんな部屋なのか楽しみでした。部屋の中に入ると、2だんベットが4こもあったのでびっくりしました。ロッカーが6こぐらいありました。2だんベットの上にねころがってみるとここがねたいなあとと思いました。

ピザのき生をつくる時がとくにたいへんでした。チーズがトロツとしておいしかったです。

二日目の朝のコーンスープがおいしかったです。家でのものであるコーンスープと味がにっていました。いっきに三浦ふれあいの村が気に入りました。三日目のシーカヤックが一番たのしかったです。一回こぐとうずまきができました。こいだのを見ながら前にすすみました。船から海の中にははいりませんでした。何でかと言うとクラゲにさされるかもしれないからです。三日間たのしいことばかりでよかったです。

関谷 章馬



ポトフ作り。野菜を切った。



でき上がったピザとポトフ。

8月23日に三浦ふれあいの村に行きました。とまったたて物かやまびことうです。

一日目の夕食にピザとポトフを作ったべました。ぼくのピザは顔ピザで、名前はピザ太郎とういいます。ポトフは、ぼくはちょうりはんで野さいを切りました。さい後は、組でおしく食べました。おいしかったです。みんなでふるにはいりました。きもちよかったです。

二日目は、弓矢をつくりました。そしてラリーに行きました。一番楽しかったのは、ボーイたいのゲームです。ボーイたいのゲームは、自分で造った弓矢のまと当てです。そして、時間があつたときにしんれい写真を撮りました。人の後ろにれいがうつっているという写真を撮りました。

三日目はシーカヤックたいけんをしました。すると赤しおにプラントンのたまごがありました。そして、大船駅でたい長に写真をとつたでしようをもらいました。うれしかったです。

高田 廉

3日目にシーカヤックをやりました。シーカヤックは1人でのってこぐ船です。るみはうさぎなのでさいごにのりました。だから、しかやくまがのってこいでるのを見ました。みんな、らくそうにこいでるので「かんたんなのかな」と思いました。そして、うさぎがのるじゅん番になりました。そしてのつたら、たしかにらくちやらくちだけ、へんな方向にすぐいっちゃうので、びっくりしました。だけど、時間がたつていくうちにこつがわかつていって、できるようになっていきました。こつがわかつてきると気もちがすごくよくなって、ごらくの気分になりました。理由は、1人でこぐのがはじめてだから～！ほんとにシーカヤックができてよかったです。るみの家族や友だち、しんせきにじまんしたいぐらい楽しかったです～！

井上 留美音

ポーイスカウトのキャンプなので、楽しい気持ちと不安な気持ち、初めは入りまじりました。

一日目は、入村式をおえて、野外すいはんにとりかかりました。ピザとポトフを作りました。

私は、食りようがかりになりました。まず、ピザ作りに、粉をドライーストと水をまぜて、百回はこねました。すると、だんだんくつきにくくなりました。そしてポトフ作りに、ニンジンやジャガイモを切りました。一から手作りして大変だった分、おいしかったです。自分たちで作った食べ物なので、ありがたみを強く感じました。そして協力して作ることの大切を知りました。

お風呂もいっしょに入り、みんなのきずながさらにふかまった気がします。

2日目は、ビーバーと合流して弓矢を作りました。作った後、みんなとどぼしあいをしました。矢が森のところまでとんでいって、なくなってしまった人もいました。だから、「弓矢はすごいな」と思いました。

弓矢が終わつたあと、お弁当を食べてからラリーをしました。そのとき、おやつも食べました。私は、ゴジラチームでした。とてもおもしろかったので、こういうゲームをまたやりたいなと思いました。

夜には、キャンドルファイヤーをしました。火をもつのが少しこわかったです。みんながローソクをはこびおわたたら、いろんなだものをしたり、ゲームもしました。自分たちはおどりをしました。キャンドルファイヤーは神様のしゆくふくみたいです。ごかったです。

おどりのうまさをたいちゅうに聞いてみたら、「うまかったよ」と言われてうれしかったです。その後、ビーバーが弓矢をもって、「さよなら」と言っておわかれをしました。

3日目は、シーカヤックをしました。さいしょはうまくいかなかったけど、だんだんうまくなってきました。そして、れんけつあそびをやりながら、おちたりもして、いつのまにふかいところに行つてました。

ほんとうに、なにからなにまで、このたいけんで楽しかったこと、こまったことなど、いろいろえられたこともありました。

私は、このキャンプで、「やくそく」と「さだめ」を忘れずに仲間と協力し、助けあうことをあらためて学びました。また、こういうキャンプをやつてみたいです。

みなさん、どうもありがとうございました。

中村 優護



野 外すいじの火おこしが楽しかったです。

まずはしんぶんしを燃やして、次は細くて小さなまきを燃やして、だんだん火が大きくなったら、太くて大きなまきを燃やしました。

この火でピザとポトフをつくりました。とてもおいしかったです。

ベッドは2だんベッドで上だったのでとてもうれしかったです。

そして次は、かみこまいだけでたんけんしてゆうしょうしたのでとてもうれしかったです。

星空観察はものすごくきれいでした。さそりなどもみました。

シーカヤックは、最初はバランスをとるとオールがむずかしかったけどなれました。シーカヤックがたのしかったです。

またやりたいです。キャンプはものすごくたのしかったです。またいつかかぞくでいきたいです。

中垣秀斗

僕 は、鎌倉5団に入団して初めてのキャンプでした。知り合いいも少なく、最初は、心細かったです。しかし、組長と気が合い、組の人たちと話をしているうちに段々仲良くなりました。

初めての野営する場所でしたので少しとまどいました。夕食は、ピザとポトフで、僕はポトフの火の管理をしました。火おこしは、何度もやったことがあるので、難しくありませんでした。ピザもポトフもすごくおいしくできました。営火は、キャンプファイヤーと思っていましたが、キャンドルファイヤーを行いました。僕たちの組は、ジンギスカンを踊りました。たくさん練習し、本番に臨みましたが、あまりうまく出来ませんでした。その他の組では、妖怪体操第一など色々なゲームをやっている組もありました。また、星空観察も行いました。

翌日は、海でカヤックに乗りました。僕はカヤックに乗るのが2回目でした。前回よりは、スイスイうまくいきました。楽しいキャンプでした。

小谷 優清

私 が一番印象に残った事はキャンドルファイヤーです。始まる前、キャンドルファイヤーとはどんなことをするのかと思っていました。夕食の後、キャンドルファイヤーが始まりました。一人ひとりみんなで細いろうそくを持ちました。大きな木の上には太いローソクがあり、組長が太いローソクに火を移しているところが、とてもきれいでした。全部のローソクに火がついて、とても明るくなりました。うたを歌い、劇を観ました。一番良かったのは、カブ版の桃太郎だと思いました。おばあさんが、桃太郎に渡すものが、きびだんごではなく、カブ弁だったところが、良いアイデアだと思いました。

私の組は、ジンギスカンを踊りました。途中まではうまくいっていたのですが、最後の歌詞を忘れてしまい、何度も繰り返してしまいました。でも、楽しく出来て良かったと思います。

また、隊長の『アブラハムには七人の子』は、隊長が体をブラブラさせて、まるであやつり人形見たいでとても面白かったです。いつまでも観ていたかったくらいとても楽しかったです。

小谷 理清

日目のキャンプの夜ピザを焼きました。ぼくは火の当番でした。マッチで火をつけて、温度を上げました。はじめてでしたが、うまくいきました。手作りピザはとてもおいしかったです。お風呂では、水のかけあっこをしたり、広いよくそうなので、ふざけて楽しかったです。消灯前ダウトをしました。ダウトを知らない人がいたので、おもしろく教えたなら、わらってくれました。

二日目の朝、ビーバー隊と合流し、弓矢を作りました。竹のぼうをあぶって曲げて造った弓矢はすごく飛びました。ビーバー隊のラリーでは、一位になりうれしかったです。夜には、キャンドルファイヤーを行いました。だしものももたらうがうまくいってみんなわらってくれました。

さいごの日のシーカヤックでは、はじめはこわかったけど、いざやってみると、すいすい沖の方へ行けて、友達と水かけ合ったりして、楽しめました。来年も三うらにとまりたいです。

落合利安生

今 年でぼくは、カブキャンプ3回目なので組長になりました。少したいへんだったけど、すごく楽しかったです。それに今年の9月、ぼくはボーイ隊に上がるので、今年のキャンプがカブ隊の最後のキャンプでした。

ボーイ隊にはいったら、寝るのは宿ではなくテントに、食事は自分で調理して食べる、などカブ隊では体験できないことも体験できるので、ボーイ隊も楽しみです。

野口矢真人

今 年のキャンプは、カブ隊最後のキャンプでした。心に残った活動は、3つあり、一つめは、ビーバーといっしょに活動したことです。小さい子との活動だから、自分のおとうとにかんじました。

二つめは、弓矢作りです。弓矢の部分を工夫して作ったら、とてもよくとぶようになりました。

三つめは、シーカヤックです。シーカヤックは、二回目なのでうまくいきました。今年、立ちこぎを最後におぼえました。立ちこぎをしているときに、サーフィンをしているようにかんじました。

キャンプに行き色々なことをまなびました。とてもよかったです。

下田恭平

ぼ くは、シーカヤックをしたことが一番楽しくて、印象に残りました。沖の方にこいでいったら、海水が赤くなってきました。とてもきまょうでした。さわってみると、手にたまごのような小さな物がたくさんつきました。さらにふしぎになりました。だけど色が赤くない、ふうの海水の所に手を入れるとなぜか、何もつきませんでした。その後に調べたら「赤しお」というげんしょうでした。とても楽しかったです。

鈴木 大和

今 年のキャンプで一番楽しかったことはシーカヤックでした。シーカヤックは去年のキャンプでも経験し、少し慣れていたので楽しみにしていました。しかし今年沖に出ると海面に赤い謎の卵が浮いていたので、それがとても気持ち悪かったのでなるべく海に落ちないようにバランスに気を付けて漕ぎました。少し緊張していたため腕が痛くなりました。初めてシーカヤックの上で立ち乗りしたときはうまくいかず何度も海に落ち頭を打ちましたが、去年出来なかったプレーキが出来ようになったのでとても楽しかったです。

ボーイ隊になってもシーカヤックをやりたいと思いました。

松本凌太郎



楽しかったシーカヤック。

■ 崎口駅でおいた時、雨がザーザーふっていた。「去年は晴れていたのにな」

バスのまどからは白い雲が見えた。雨つぶがまどにシャワーのようにたたきつけていた。「うー。この雨の中歩いていくんだ」。

キャンプ場までの道のりは上り坂で雨水が流れてきた。気持ちは下がって、どんよりした。雨の向こう側にキャンプ場の門が見えた。「やっとなつた」「野外すいじできるかな」。でも雨がやんだ。野外すいじができた。ピザとスープはおいしかった。

夜、二だんベッドの上で虫の音がよく聞こえた。「明日のスタンツが心配だな」。

「ビーン」。矢が飛んだ。キャンプ場のしばふに太陽があたってキラキラ光って、むし暑かった。初めてだけ思い通りの所に矢が飛んだ。もっとやりたいと思った。帰ってから飛ばしてもらえるかな？むりかな？ラリーでは他のゲームもあったので楽しかった。

ついにキャンドルファイヤー前の休けいになった。「やばい」。ジンギスカンを知らない人が多かったので、どうしたら良いか考えた。準備した歌詞を書いた紙を、みんなに配った。字を見られるのがはずかしくて、手わたす時に照れくさかった。おどりはクマスカウト2人でみんなに教えた。みんな完ぺきにおどれるようになった。「これなら大じょう夫」。

ついに本番がきた。自分達がよばれて立ち上がった時、し線を感じてドキドキした。でも「自分がかんぼつてやらなきゃ」と思っておどった。ロウソクの火の熱さははずかしさで体中が熱かったけど、必死に手足を動かした。なっとくかないでできた。ただけでみんなで協力して楽しくできたことがよかった。

中村甲一朗



カブ隊

V S

ベンチャー隊

平成26年度 夏期遠征報告

◎日時：平成26年8月6日(水)～11日(月)

◎於：香川県高松市周辺

◎実施者：木村海生・守田 渉

テーマ

四国の食を知る

目的

個々の料理スキルを向上させ、おいしいうどんを作れるようになる。四国の食文化を、見たり、食べたりなど、五感を使って触れていく。また、文化活動のアワードを取得し、誓いと掟の実践に努める。

目標

- ・「文化活動」のアワードの取得。
- ・総会にて、団の人に
おいしいうどんを振る舞う。

内容

プログラム1

うどん作り体験(8月8日)

プログラム2

香川探検(8月8、9、10日)

事前プログラム①

備品整理(7月31日)

事前プログラム②

うどん作り練習(7月31日)



記録

| | | | |
|-------------|---|---|--|
| 8月6日 (水) | 21:18 大船改札前集合 21:34 大船駅発 21:49 横浜駅着 22:18 夜行バス発 | 12:00 体験終了 12:52 高松駅発 13:03 端岡駅着 14:57 撤営終了 15:42 端岡駅発 15:52 高松駅着 17:04 ホテルチェックイン 19:30 夕食 21:00 反省・明日の確認 21:30 就寝 | |
| 8月7日 (木) | 7:26 高松駅着 8:01 高松駅発 8:13 端岡駅 10:08 キャンプ場着 10:40 設営終了 11:45 端岡駅着 12:11 端岡駅発 12:23 高松駅着 12:50 昼食 15:57 高松駅発 16:08 端岡駅起床 18:20 夕食 21:00 反省・明日の確認 21:30 就寝 | 8月9日 (土) | 7:25 起床 8:00 朝食 11:00 昼食 17:30 夕食 21:00 反省・明日の確認 21:30 就寝 |
| 8月8日 (金) | 5:30 起床 5:45 朝食 6:40 キャンプ場発 7:52 端岡駅着 7:56 端岡駅発 8:05 高松駅着 9:45 さぬき蕎麦着 10:00 うどん作り体験 | 8月10日 (日) | 8:00 起床 8:30 朝食 12:00 昼食 19:00 夕食 21:15 夜行バス発 |
| | | 8月11日 (月) | 6:15 横浜駅着 6:36 横浜駅発 6:51 大船駅着 7:00 解散 |

感想

◎チーフ・記録・プログラム担当 木村海生

今 回の遠征は初めてだったため、とても不安だった。何事もなく過ごせたらいいと思っていたがそうはいかず、たくさんのトラブルがあった。しかし、初めての体験がたくさんできたから、得たものもとても多かった。

初日の夜、承諾書を忘れ幸先が悪い中、渉が間違えて夜行バスを全員分キャンセルしてしまっていたらしく、バスに乗れないというトラブルが起き、この時はとても焦ったのを今でも覚えている。バスの出発時刻になってもこない客がないため、その席で乗ることができてもほっとした。きっと僕らの日頃の行いがよかったから乗ることができたんだと思う。しかし、バスに乗っているとき、もう一つ大きな失敗に気付いた。うどん作り体験で使うエプロンを持っていくのを忘れていたということだ。慌てて高松市内でエプロンを売っている店を探して買いに行きなんとかなった。もうなにも失敗はしていないと思っていたが、キャンプ場に到着してキャンプ地を借りようとしたら、承諾書をファックスで出してないから予約したことにはなっていないとわかった。僕は承諾書は当日に出すと勘違いしていたからこのときはかなり驚いた。キャンプ場の空気があったため、使うことはできた。高松について1日でこんなにたくさんのトラブルが起き、残りの日がとても不安になった。

—— 日目の朝は寝坊せず起きてよかった。僕らの代はよく寝坊したので少し不安だった。雨もまだ降っていない、午前中はすべて計画通りとはいかなかったが、スムーズに行けたと思う。そして、今回の遠征のメインであるうどん体験はたくさんを学べることができた。最初に混ぜるときの作業がうどんのできの6割といわれたときは緊張した。それに普段腕を回すことをしていなかったため、最初の作業でかなりの体力を使い切ってしまった。麺を切るときは怪我を恐れすべて切るのにものすごい時間をかけてしまった。完成した時にはもうくたくたになったがその分水の量や生地のかき混ぜ方な

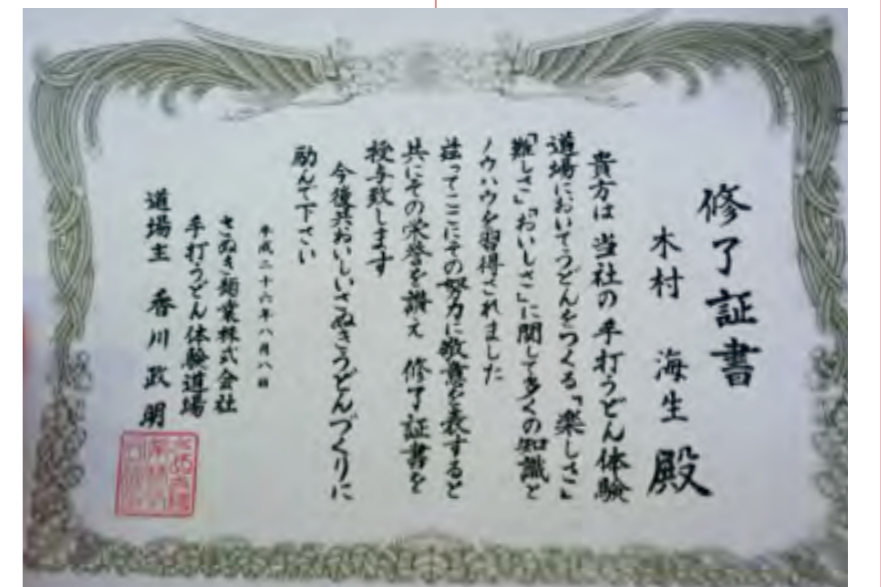
ど、たくさんを学ぶことができたからとてもよかったと思う。うどんの出来もよく思わずおかわりしてしまうおいしさで、ここでの体験は総会への自信となった。しかし、体験終了後に急に雨が降ってきて急遽高松駅近くにあるホテルへと非難した。もともと台風が来ることは知っていて、覚悟はできていたが実際に来るとかなりいやな気分になった。台風のおかげでその日の高松探検の時間が無くなってしまい、ショックだった。この日はうどん体験、急な撤営でかなり疲労がたまっていたためすぐに眠ることができた。やはりテントの中より、ふかふかのベッド寝るのは心地よくてとてもよく眠れたと思う。ベッドで寝れるという当たり前のようなことはとてもありがたいことなんだと改めて感じることもできた。

次 の日、午前中にバスの運休が決まりもう1日と決まった時、まだ高松を探検できる喜びと早く帰りたいという気持ちが混ざってどかしい気持ちになった。しょうがないからたくさんまわってうどんを食べようと決めた方がいいが、台風の影響で閉まっていたり、閉店時間がとても早いところがたくさんあり効率よく回ることができなかった。遠征前から事前に調べておけばよかったと後悔した。夜あいてるうどん屋を見つけることができず、この日の夜は違うものを食べた。

高 松滞在最后の日、なんと寝坊してしまった。隊長の電話に出れなかったのはまだ寝てたからだ。本当にすみません。この日は天

気が回復しバスも動くということで安心した。探検も昨日営業時間が終わって行けなかった店にも行くことができ、有意義の日となった。しかし、荷物を持っていたため、周りの人の迷惑になってしまった。アーケードを通っているとき、知らない人に何度か話しかけられたが、正直かなりうれしかったし、自分への励みにもなった。その日の夜、夜行バスで帰るとき、ちゃんと予約したのに初日のこともありとても不安になり心配だった。無事に帰れた時はものすごくほっとした。

今 回の遠征で僕はもっと持ち物の準備、管理をしっかりとやらなければいけないと思った。今回の遠征で忘れたものがとても多くそこはしっかりと反省し、このようなことが二度とないように注意していきたい。また、下調べがたりないとも思った。探検の時、時間はたくさんあったがうどん屋がどこにあるかも知らなかったり、営業時間も知らなかったため、探検の効率がとても悪くなってしまったから、この失敗を活かし次の活動では事前に調べてそのことを把握できるようにしていきたい。今回の遠征ではたくさんのトラブルがあり、散々な目にあったこともあるが、そこから得られたものもたくさんあり、人として成長することができたと思う。来年は今回の経験を活かし、よりよい遠征ができるようにしたい。そして、いつもお世話になっている団の方々においしいうどんを作って恩返しできるように頑張りたい。



感想

◎会計・装備・食料担当

守田 渉

皆さんは香川といえば何を思い浮かべますか。もちろん、さぬきうどんとおもいます。でもうどん以外の香川の特産品を聞かれると難しいですね。僕はそうでした。今回のテーマは「うどん」ですが、うどん以外の香川を知るために遠征にいきました。香川に行く前に調べてみた特産品は青ネギ、うちわでしたが実際にいってみて全然見かけませんでした。逆に実際行っ

てみてオリーブや骨付き肉がよく売られていて、意外でびっくりしました。特にオリーブは、県花になっているほどでした。このように、実際に行ってみないとわからないことがあるんだと深く感じました。あとはもちろん、うどんも食べてきました。一日に2〜3食うどんだったので、こんなに頻繁にうどんを食べるのは初めてでした。店ごとに微妙にコシが違うので面白かったです。

領収書をもらい忘れたことや、準備不足なことが多かったけれど、色々なことを学ぶことができて良かったです。

